

第7回 AM シンポジウム

主催：東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室

共催：(株)アспект (株)エリジオン、都産技研、MSTC

後援：東京大学生産技術研究所

協賛：3Dプリンター振興協議会

SIP／革新的設計生産技術「Additive Manufacturing を核とした新しいものづくり創出 (MIAMI)」プロジェクト公開シンポジウム

及び

第7回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム

開催趣旨：

2012年頃から始まった3Dプリンターブームですが、徐々に製品製造に向けた検討が始まっており、それにつれて、工法や装置開発のほかにも、CADやシミュレーションなどのAM技術をどのように利用するかといったことに議論が高まっております。

本シンポジウムは1/25と26の2日構成として、1日目はSIPプロジェクトのご説明、2日目の第7回AM (Additive Manufacturing) シンポジウムでは、海外ゲストとしてテキサス大学のJoseph J Beaman教授と3DSIM社のCEO Brent Stucker氏をお迎えしてお話を伺います。皆さまよろしくご参集下さい。

海外ゲストの御紹介：

The University of Texas at Austin の Joseph J Beaman 教授は、1986年から粉末床溶融結合技術(Powder Bed Fusion)の開発に乗り出し、DTM社の設立や最初の粉末床溶融結合装置 Sinterstation の開発にも寄与しました。当に、粉末床溶融結合技術の生みの親であります。また、今年で27回目を数えるAM技術の国際シンポジウム Solid Freeform Fabrication Symposium (SFFS)を主催された方としても有名です。同教授は、現在も粉末床溶融結合技術の研究を続けておられ、最新の粉末床溶融結合技術やAM技術に関する米国事情をお話しいたします。

3DSIM社のCEO Brent Stucker氏は、University of Louisvilleの教授時代にはASTMの標準化会議で議長を務めるなど、AM技術に深く関与・貢献されてきました。当該第4回AM (Additive Manufacturing) シンポジウムではUniversity of Louisvilleの教授としてAM技術の米国事情を講演していただきました。同氏は、現在3DSIM社を設立され、金属AM技術が抱える課題を解決するプロセス・シミュレーターの開発と普及を手掛けていらっしゃいます。

第7回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム 第一部

開催日時: 2017年1月25日(水) 10:00~17:40 (受付 9:30 から)

開催場所: 東京大学 生産技術研究所 An棟(コンベンションホール)
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>

参加費: 無料(会場の都合により事前登録制)

参加申込締切 平成28年1月18日(水) 必着(定員に達し次第締め切らせて頂くがございます)

(レセプションにご参加の場合、会費として3,000円頂戴致します。)

募集人員 300名

(敬称略)

(初日午前の部) MIAMIプロジェクト公開シンポジウム		司会 間野 隆久
10:00 ~10:10	開会のご挨拶	東京大学 教授 新野 俊樹
10:10 ~10:50	MIAMIプロジェクトの説明Ⅰ 製品力の向上	東京大学 教授 山中 俊治
10:50 ~11:30	MIAMIプロジェクトの説明Ⅱ 設計力の向上	㈱エリジオン 河野 功
11:30 ~12:10	MIAMIプロジェクトの説明Ⅲ 製造力の向上	東京大学 教授 新野 俊樹
12:10 ~12:30	総評	SIP 革新的設計生産技術プログラム ディレクター 佐々木 直哉
昼食・休憩(12:30~13:30)		
(初日午後の第一部) 人の身体にフィットするモノづくり		司会 新野 俊樹
13:30 ~14:00	デザインサイト	東京大学 教授 山中 俊治
14:00 ~14:30	CADサイト	㈱エリジオン 河野 功
14:30 ~15:30	パネルディスカッション	
休憩(15:30~15:45)		
(初日午後の第二部) AM用材料スーパーエンブラの使用可能性を探る		司会 横山 幸雄
15:45 ~17:40	講演とパネルディスカッション	コーディネーター: 東京大学 新野 俊樹
18:00~19:30 (レセプション) 場所: コンベンションホール前のホワイエにて会費、3,000円/人		

第7回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム 第二部

開催日時: 2017年1月26日(木) 10:00~17:20 (受付 9:30 から)

開催場所: 東京大学生産技術研究所 An 棟 コンベンションホール

参加費: 無料(会場の都合により事前登録制)

参加申込締切 平成28年1月18日(水) 必着(定員に達し次第締め切らせて頂くがございます)

募集人員 300名(懇親会にご参加の場合、会費として5,000円頂戴致します。)

(敬称略)

(二日目午前の部) 山 英史		司会: 青
10:00 ~10:10	ご挨拶	東京大学生産技術研究所 所長 藤井 輝夫
10:10 ~11:40	【招待講演】AMによるものづくり、米国事情 (仮題)	The University of Texas at Austin Professor, Department of Mechanical Engineering, Cockrell School of Engineering Dr. Joseph J Beaman
11:40 ~12:10	海外情報:	東京大学 教授 新野 俊樹
昼食・休憩(12:10~13:10)		
(二日目午後の前半部) 俊樹		司会: 新野
13:10 ~14:00	【招待講演】医療機器開発ガイドラインについて	産業技術総合研究所 岡崎 義光
14:00 ~14:30	金属 PBF の難しさ(仮題)	NTT データエンジニアリング 酒井 仁史
14:30 ~15:00	樹脂 PBF の形状依存性(仮題)	都立産業技術研究センター 山内 友貴
休憩(15:00~15:20)		
(二日目午後の後半部) 水 透		司会: 清
15:20 ~16:50	【招待講演】金属 PBF のプロセスシミュレーション(仮題)	3DSIM 社 Brent Stucker PhD.
16:50 ~17:20	付加製造技術の MID 技術への展開	東京大学生産技術研究所 孫允晟
17:40~19:30 懇親会 場所: コンベンションホール前のホワイエにて 会費:5,000円/人		

注: 講演者、講演内容は、都合により変更になる場合がございます。

詳細は、ホームページでご確認下さい。

レセプション、懇親会費は、原則、事前(事後でも構いません)に銀行振込み支払いでお願い致します。

(大変恐縮ですが振込手数料は、お振込先でご負担をお願い申し上げます)

お申し込み後、請求書(必要に応じて領収書)を発行いたします。

当件における連絡先:

(プログラム・展示内容に関するお問合せ先)

東京大学 生産技術研究所 第2部/機械生体系

付加製造科学研究所 森田

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

TEL 03-5452-6098 (内線57491)

(参加、懇談会登録等に関するお問合せ先)

一般財団法人製造科学技術センター 調査研究部 間野(マノ)

〒105-0001 東京都港区新橋3丁目4番10号 新橋企画ビルディング4階

TEL 03-3500-4891 FAX 03-3500-4895

製造科学技術センター ホームページアドレス:<http://www.mstc.or.jp>

東京大学 生産技術研究所 会場案内図



詳細は、以下のキャンパスマップをご参照ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_04_09_j.html

キリトリ線

送付先: amsympo@iis.u-tokyo.ac.jp 締切:平成29年1月18日(水)17時まで
(定員になり次第締切らせて頂きます)

ご氏名:

組織名:

所属:

役職:

住所:

TEL:

FAX:

e-mail:

(e-mail は、到着・返信の重要な連絡先となりますので、明瞭にお書きください。また、小文字、大文字の区別も明確にお願い致します)

レセプション・懇親会(1月25日(水)・26日(木)両日) 参加 ・ 不参加(不要な方をお消し下さい)
(個別申込みご希望の方は以下にご記載ください)

レセプションのみ(1月25日(水)) 参加 ・ 不参加(不要な方をお消し下さい)

懇親会のみ(1月25日(木)) 参加 ・ 不参加(不要な方をお消し下さい)

注参加費:レセプション・懇親会両日参加 8,000円(消費税込)

レセプションのみ参加 3,000円(消費税込)、懇親会のみ参加 5,000円(消費税込)

懇親会参加の場合(事前登録、支払期日、各開催日まで(後日でも可)となっております)

請求書(レセプション/懇親会参加者全員に、参加組織名等でお送り致します)

(参加組織外での請求書の宛名:)

支払期日:平成 年 月 日()支払予定(予定が変わる場合には御連絡ください)

(本年度内のお支払いをお願い申し上げます。ご参加表明、ご入金後の返金はお受けできませんのでご了承の程よろしくお願い申し上げます。当日空きがあればお申し込みを受け付けますが、事前登録で定員に達した場合はご遠慮頂く場合もございます)

領収書 有り ・ 無し(不要な方をお消し下さい)

(領収書は、シンポジウム当日にお渡し致します)

注:参加申し込み順に平成29年1月11日以降から順次登録票(レセプション、懇親会参加者は請求書)をメールで送付いたします。もし、1月20日(金)までに何の連絡もない場合はお手数ですが、上述の(参加、懇談会登録等に関するお問合せ先)までご一報ください。

備考(その他何かご疑問点、要求等ございましたらご自由に記載して下さい。):

(同内容をテキストでメールに記入しお送り頂いても構いません)

以上